

事業所防災リーダー通信 2026 Vol.13

事業所防災リーダーの皆さまへ、防災知識や防災に関するお知らせなどを定期的に発信します。



建物の安全確認と待機判断

安全確保を最優先に、冷静に状況を確認し、適切な行動につなげましょう

令和8年熊本地震では、施設からの退避後に再度建物に戻ったため人的被害がありました。設備の再確認に加え、建物点検も含めた災害時のマニュアル等についても改めて確認をお願いします。地震後は、建物の耐震性能や損傷状況を確認し、安全を確かめたうえで行動することが重要です。まず身の安全を確保し、揺れが収まったら建物・周辺を確認。安全なら事業所内待機、危険なら避難します。



判断の流れ



揺れがおさまる

建物・周辺を確認

安全なら「事業所内待機」

危険なら「避難」

1 建物・周辺を確認

- ✓ 火災、煙、ガス臭
- ✓ 建物の傾き・ひび割れ
- ✓ 落下物の危険
- ✓ 避難階段・非常口
- ✓ 電気・給排水・消防設備



⚠ 平時から確認箇所と点検担当者を決め、チェックリストを準備(*1)

2 安全なら「事業所内待機」

- ✓ 安全確認後、待機を指示
※建物と周辺の安全状況や、行政機関・建物管理者からの避難指示を確認
- ✓ 待機場所・行動ルールを周知
※救助・救命活動の妨げや、混雑、二次被害につながるおそれがあるため、3日間は事業所等に留まる(*2)
- ✓ 3日分の備蓄を活用



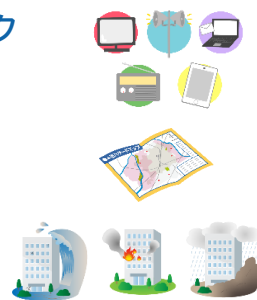
3 危険なら「避難」

- ✓ 倒壊のおそれ
- ✓ 火災の拡大
- ✓ ガス・燃料・薬品の漏えい
- ✓ 避難手段・時間が限られる
- ✓ エレベーターは使わない(*3)



4 場所と時間で変わるリスク

- ✓ 所在地のリスクを確認
- ✓ ハザードマップで事前確認
- ✓ 津波・余震・延焼に注意
- ✓ 公式情報で判断を更新



参考資料:

*1 東京都「[東京事業所防災実践マニュアル](#)」100～101ページ(PDF版51ページ)

*2 内閣府「[帰宅困難者対策ガイドライン](#)」45ページ(PDF版48ページ)/東京都「[帰宅困難者対策ハンドブック](#)」2、5～6ページ(PDF版8、11～12ページ)

*3 東京都「[東京防災](#)」68ページ(PDF版35ページ)



事業所防災リーダーの役割

安全確認の結果、待機・避難の判断、取得した情報と判断の根拠を記録し、従業員や来訪者に分かりやすく伝えましょう。

東京都からのお知らせ

東京都では、多くの事業所からの防災リーダーの登録を募集しています。防災リーダーは、1企業や1団体1名ではなく**部署・事業所(支社、営業所など)ごと、また、1団体に複数名も登録**できます。ぜひとも、この機会に多くの方にご登録いただき防災リーダー同士の結束を強めていきたいと思います。

右記のQRコードを候補者の方にご案内ください。



https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1000048/1021045/index.html